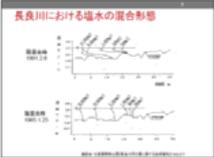
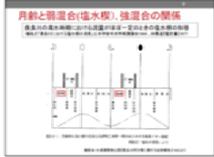
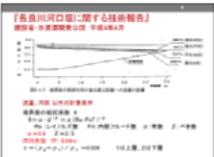
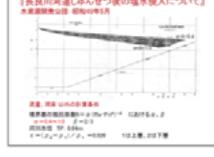
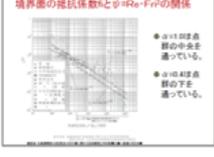
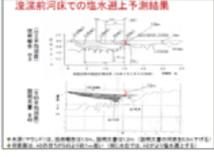


「第4回愛知県長良川河口堰最適運用検討委員会」に関する傍聴者の御意見と傍聴者の質問に対する回答など

氏名	御意見	質問に対する回答など																												
在間 正史	<p>資料7塩水遡上について(「資料8:塩水遡上の予測結果」)の約30km~約27km地点までの塩水が遡上する予測は、堤内地の塩害はもちろん長良川の塩水訴訟の予測としても、別紙のように、不十分なものである。</p> <p>この塩水遡上予測は、小潮時の年平均満潮位の最高時の(月齢・日内の限られたときの最大)観測データ群の下を通っている定数による(遡上距離が長くなる)2層流計算(上下層の混合を無視)の結果にすぎない。</p> <p>実際は、弱混合は、平水流量70m³/s以下の小流量時で、緩混合的で、マウンドを越えると急激に塩分濃度が低下する。浚渫後の堆積で、マウンドが形成されている。(マウンドで塩分濃度が急激に低下し遡上が止まる。)</p> <p>開門をして、実測による塩水遡上状態の検証が必要である(非灌漑期に調査が可能)。</p> <p>(下記資料の拡大版については別添をご覧ください)</p> <div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%; border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px;">  <p>資料8: 長良川浚渫後 弱混合時 塩水遡上予測の検証</p> <p>在間 正史 元長良川河口堰建設差止訴訟弁護団</p> </div> <div style="width: 50%; border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px;">  <p>長良川における塩水の混合形態</p> </div> <div style="width: 50%; border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px;">  <p>月齢と弱混合(塩水模)・強混合の関係</p> </div> <div style="width: 50%; border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px;">  <p>長良川河口堰に関する特報報告</p> </div> <div style="width: 50%; border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px;">  <p>長良川河床(ゆんせつ)後の塩水侵入について</p> </div> <div style="width: 50%; border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px;">  <p>境界面の抵抗係数nとFr/Fr0の関係</p> </div> <div style="width: 50%; border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px;">  <p>建設省・水公団 技術報告 H4 水公団 説明文書 G49 の比較</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>内容</th> <th>建設省 技術報告 H4</th> <th>水公団 説明文書 G49</th> <th>比較</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>計算条件</td> <td>20</td> <td>20</td> <td>一致</td> </tr> <tr> <td>計算対象区間の長さ</td> <td>1.0</td> <td>0.4</td> <td>0.4</td> </tr> <tr> <td>計算対象区間の水深</td> <td>3.0</td> <td>3.0</td> <td>一致</td> </tr> <tr> <td>計算対象区間の流速</td> <td>0.5</td> <td>0.5</td> <td>一致</td> </tr> <tr> <td>計算対象区間の水深</td> <td>3.0</td> <td>3.0</td> <td>一致</td> </tr> <tr> <td>計算対象区間の流速</td> <td>0.5</td> <td>0.5</td> <td>一致</td> </tr> </tbody> </table> </div> <div style="width: 50%; border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px;">  <p>浚渫前河床での塩水遡上予測結果</p> </div> </div>	内容	建設省 技術報告 H4	水公団 説明文書 G49	比較	計算条件	20	20	一致	計算対象区間の長さ	1.0	0.4	0.4	計算対象区間の水深	3.0	3.0	一致	計算対象区間の流速	0.5	0.5	一致	計算対象区間の水深	3.0	3.0	一致	計算対象区間の流速	0.5	0.5	一致	
内容	建設省 技術報告 H4	水公団 説明文書 G49	比較																											
計算条件	20	20	一致																											
計算対象区間の長さ	1.0	0.4	0.4																											
計算対象区間の水深	3.0	3.0	一致																											
計算対象区間の流速	0.5	0.5	一致																											
計算対象区間の水深	3.0	3.0	一致																											
計算対象区間の流速	0.5	0.5	一致																											

技術報告の予測の問題点 ②

①河川水位でなく、(1)小淵の平均流量と(2)の流量
 * 2018年6月の観測の平均流量と(2)の流量
 * 2018年6月の観測の平均流量と(2)の流量
 * 2018年6月の観測の平均流量と(2)の流量

②予測精度
 * 予測精度は、観測値との差を評価しているが、観測値との差が大きい場合、予測精度が低いと評価している。

③予測精度
 * 予測精度は、観測値との差を評価しているが、観測値との差が大きい場合、予測精度が低いと評価している。

確保流量と伊勢大橋塩化ナトリウム濃度の関係 (技術報告の予測の問題点③)

塩化ナトリウム濃度は、最大で10,000 mg/L程度
 濃度が10,000 mg/Lを超えると、塩化ナトリウム濃度が低下する。

長良川の流量合時の塩水濃と変動
 技術報告の予測の問題点④

塩水は、100m付近のポンプ(P1-P3)を越え、保水と合わせて濃度が低下している。

長良川の河床高(平均) 技術報告の予測の問題点⑤

河床高は、観測値と予測値との差が大きい場合、予測精度が低いと評価している。

技術報告の塩水濃と予測計算の検証 (小括)

* 観測値と予測値との差が大きい場合、予測精度が低いと評価している。

* 観測値と予測値との差が大きい場合、予測精度が低いと評価している。

* 観測値と予測値との差が大きい場合、予測精度が低いと評価している。

技術報告の塩水濃と予測の検証 (まとめ)

* 技術報告の約20km～約70m地点まで塩水が観測される予測(入川後4)は、小淵の平均流量と(2)の流量との関係が大きい場合、予測精度が低いと評価している。

* 技術報告の予測は、観測値との差が大きい場合、予測精度が低いと評価している。